



初の夏日、白熱の試合繰り広げる

第 26 回公益社団法人
愛知県柔道整復師会少年少女柔道大会



4 月 16 日 (日) 午前 10 時から、愛知県武道館大道場にて、第 26 回公益社団法人愛知県柔道整復師会少年少女柔道大会が盛大に開催された。

青空が広がった名古屋市ではこの日、初めての夏日を記録し今年一番の暑さになった。森川大会会長は挨拶にて、県下業界唯一の公益社団法人の理念や講道館柔道の目的、大会の主旨を説明。選手たちに「悔いが残らないよう、けがをしないよう、熱中症に注意して、持てる力をフルに発揮して、思い出になるような試合をしてほしい」と激励した。



県下 54 の道場や柔道教室に通う小学 4 年生から 6 年生までの男女合計 437 名がエントリーした本大会は、富田猛瑠選手 (6 年・東海少年柔道教室) の選手宣誓のあと、8 会場で一斉に始まり、整然として順調に進行した。ゴールデンスコアによる判定が 2 試合あるなど決勝戦では非常に白熱した試合が多く見受けられた。さらに 6 年男子決勝戦では、これまで盤石な試合運びで順調に勝ち上がった富田猛瑠選手が、ライバル関係にあり互角の実力を身に付けてきた若山将吾選手 (大治柔道育英会) に、大内刈で有効を先取されるも抑え込みで逆転勝ちを収めるなど、会場は大いに盛り上がった。大会会長賞には昨年と同じ、下記の 2 選手が選ばれた。

昨年のリオオリンピック・パラリンピックでの愛知県勢の活躍により柔道に対する関心の高まりがあるためか、今回の大会では、選手の試合態度や保護者・指導者の観戦態度が例年に比べ優れていると、多くの大会役員や審判員が感じたとのこと。鼻出血が 2 件あったものの大きなけがはなく本会最大の公益事業である本大会は成功裏に幕を閉じた。

【優勝】男子▷小 4 黒野琢磨 (東海少年柔道教室)▷小 5 名郷颯馬 (稲沢柔道会)▷小 6 富田猛瑠 女子▷小 4 大掛紗奈 (山北道場)▷小 5 大多和 心 (大石道場)▷小 6 宮原杏奈 (東海少年柔道教室)

【大会会長賞】男子▷小 6 富田猛瑠 女子▷小 5 大多和 心

【日整出場選手】監督・佐野 恵 (半田)、大将・富田猛瑠、副将・若山将吾 (大治柔道育英会)、中堅・名郷颯馬、次鋒・大多和 心、先鋒・黒野琢磨

平成 28 年度大会マッドドクター及び柔道整復師連絡協議会開催

愛知県柔道連盟の組織改編とマッドドクター側の窓口担当の変更に伴い、平成 29 年度の柔道大会の救護活動を円滑に行うための連絡協議会が、3 月 26 日 (日) 午後 5 時から愛整会館理事会室で開催された。

今回は会場を提供したこともあって、県がんセンター元総長でマッドドクターのまとめ役である二村雄次先生と米田柔整専門学校から救護員を派遣している米田 實先生のお声掛けで、本会からも役員が出席した。

医師側からは、二村先生と米田先生のほか、名古屋大学や三重大学の柔道部 OB であり、かねてより救護活動をされている 5 名が出席。米田柔整より嶋 大輔先生、本会より長谷川副会長と春日井柔道部長が出席して意見交換が行われた。



新ルールにおける医師の会場内での動きなどが周知・確認されるとともに、医師側より、柔道整復師による脱臼の整復などは大変助かっている、医師は終始試合を注視する必要があるため、柔道整復師には救護処置を中心に対応してほしい、今後も共同で活動を進めていきたいというありがたいことばを頂いた。またマッドドクターが不在の大会でも必要であれば対応するので依頼してほしいとの申し出も頂いた。

最後に二村先生がこの協議会を毎年定期的に開催していきたいとの意向を示され、午後 7 時閉会となった。

Welcome!! 新入会員

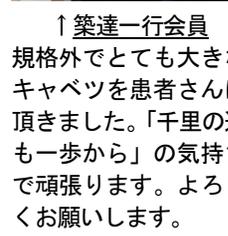
氏名	生年月日	支部	出身校	段位	趣味
築達一行	S45.9.20	豊橋	中和医療	1 級	ゴルフ
森 虹輝	S60.4.18	熱田	中和医療	—	フットサル
岸 達也	S63.5.30	大曾根	東海医療	—	野球
國領雄一	S58.12.20	刈谷	米田柔整	—	スノーボード
清水博智	S62.4.21	中村	明治国際医療	初段	プラモデル作製
加藤弘尚	S60.10.29	中村	中和医療	—	野球
東谷篤憲	H1.1.26	熱田	米田柔整	—	少林寺拳法



← 森 虹輝 会員



岸 達也 会員 (左)
瀬戸市消防団活動にて、観開式の前に撮影。



← 清水博智 会員
恐竜好き夫婦です (新婚旅行、ハワイ・ケアオア牧場にて)



← 東谷篤憲 会員
→ 國領雄一 会員



加藤弘尚 会員
自分によく似た猿がいたのでツーショットを撮影 (大阪・梅田スカイビルにて)。

少林寺拳法県大会 一般男子三段の部で一位 (最優秀賞) を受賞。接骨院、通所介護、居宅介護支援事業所を運営しております。各関係機関との連携を大切にしておりますので宜しくお願い致します。

蔵富顧問弁護士が逝去されました

4 月 8 日 (土)、本会顧問弁護士の蔵富恒彦先生が逝去された。蔵富先生は伊藤貞利弁護士の後任として、平成 24 年 3 月 1 日、公益社団法人移行に伴い本会の顧問に就任、以来 5 年間、本会はもとより会員個人の事案にも親身になって対応して頂いた。昨年末より病氣療養中であつたが、薬石の効なく 59 歳で鬼籍に入られた。

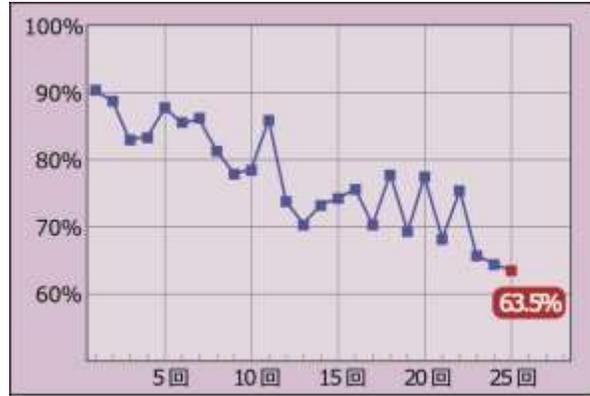


平成 23 年 5 月の総会にて

柔道の高段者でもあり、県柔道連盟の顧問も長きにわたって務められた。4 月 10 日 (月) には千種区のいちやなぎ中央斎場にて告別式が執り行われ、法曹界をはじめ各界より大勢のかたが弔問に訪れ、森川会長も最期のお別れに赴いた。小学校から森川会長と同じ町道場へ通った間柄でもあったとのこと、会長も後輩の早すぎる永眠を悼んだ。

国家試験合格率 過去最低を更新

厚生労働省より、3 月 5 日に実施された柔道整復師国家試験の結果が発表された。合格率は 63.5% と、昨年の 64.3% をさらに下回り過去最低であった。



受験校数は昨年と同じ 116 校であったにもかかわらず、合格者数は 2005 年 (第 15 回) の受験校が 67 校の時代の 4,416 名を下回り、4,274 名と過去 10 年間で最低となった。新たに輩出される柔道整復師の減少傾向がうかがわれる。